



## 令和元年度の事業計画・予算を決定!!

平成30年度の事業報告並びに決算も承認

平成から令和に改元された5月26日(日)午前10時から、金浦公民館においてまちづくり自治協議会代議員総会が開催されました。平成30年度の活動と決算の報告に続いて、令和元年度の事業並びに予算計画が提示され、可決されました。

その活動報告及び事業計画の概要を、以下部会ごとに紹介します。

### 1 企画部会

#### (1) 公民館事業との共催

本年度も、従来通り、公民館の主要3行事である“敬老会”“地区民体育祭”“芸能文化祭”に対して、人的及び資金的支援を通して共催し、地域活性化の一翼を担っていきたいと考えています。人的支援では、各行事に対して7名ずつ、延べでは21名を派遣し、公民館役員等と協働して各行事の運行に携わります。

本年度の3行事实施予定日は次の通りです。

敬老会;令和元年9月8日(日)

地区民体育祭;令和元年9月29日(日)

芸能文化祭;令和元年11月24日(日)



#### (2) 地域の高齢化対策事業

##### ア 買い物支援(買い物タクシー運行)事業

この事業は、日頃、買い物に不便を感じている高齢者が7~8人以上集まれば、そのグループに対して資金援助をし、個人負担は300円程度でタクシーに乗り合い、2週間に一度、市内中心部に買い物に出かけるという事業です。平成28年度より実施中で、現在、吉浜の袖解地区の皆さんが利用されています。その他の地区でも実施可能です。一度検討してみませんか。

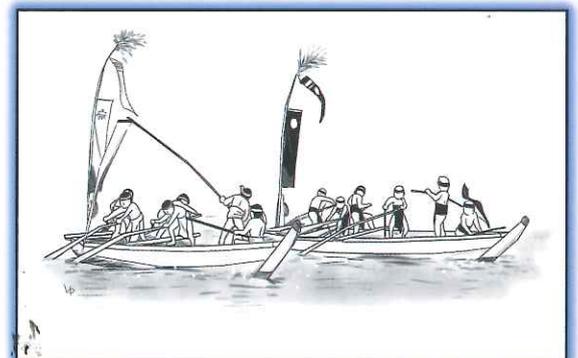
##### イ ワイヤレスコール機器貸出事業

ワイヤレスコール機器は、小型の無線送受信機セットで、独り暮らし高齢者宅に送信機を、ご近所宅に受信機を設置しておいて、緊急時に利用する呼び出しシステムです。緊急時の連絡システムには、消防署への通報やいのちのボタン制度等がありますが、ワイヤレスコール機器を設置することで従来のシステムが補完され、より強化されることとなります。現在、鉄南地区の2カ所で運用されています。皆さん方の地区でも導入のご希望があればまち協までお申し出下さい。

#### (3) 伝統行事等の継承

800年を超える伝統を持つといわれるひっかた・おしぐらんごは、旧暦の5月5日、菖蒲の節句当日の昼夜に分かれて行われてきた金浦を代表する伝統行事で、市の無形民俗文化財(おしぐらんごは、文化庁にも登録済み)に指定されています。

今年3月、旧ひっかた・おしぐらんご保存会は解散しましたが、新たに金浦ひっかた・おしぐらんご保存会を発足させ、6月1日(土)にひっかた、6月2日(日)にはおしぐらんごが、挙行されました。まち協の有志も観客の誘導他、安全な実施に向けた協力をしました。



#### (4) 古民家(「岸本邸」)の活用

昭和初期に建設された和風建築で、女流日展画家の岸本節子氏の住居であった吉浜地区の岸本邸をリフォームし活用できれば、地域全体の様々なニーズに応えられる拠点になるであろうとの思いでこれまで検討を重ねてきましたが、昨年9月以降、相続人関係の調整に時間がかかっている状況です。

#### (5) まち協と関連構成団体とのあり方について

平成24年度に発足した金浦まち協は本年度で8年目、令和の時代となった今年は、これまでのまち協の活動を振り返り、これからの時代により相応しいまち協のあり方を求める必要があります。

特に、まち協細則に盛り込まれているまち協構成団体(細則上は、「各種団体」とまち協とのあり方を検討していく中で、地域社会の複雑な内部構造を解きほぐしてゆくことも重要でしょう。これまでも企画部会で断片的に話題にはしてきましたが、まとまった議論にはなっておりませんでした。今後、場合によっては、まち協構成団体以外の団体等についても触れる必要があるかもしれません。これからは、両者が対等な立場に立って議論をし、より良い関係性を見だし、より良い地域社会の実現を目指すべきではないかと考えています。

## 2 防災部会

### (1) 防災研修会の実施

ア 旭が丘地区で防災研修を開催しました。

平成30年11月4日(日)9時から、旭が丘集会所で66人が参加して、防災クイズをとおり防災・減災に関する知識を、皆んなで楽しく学びました。

【研修メニュー】

- ・笠岡市危機管理課職員講師の防災講話「災害に備えて」
- ・防災クイズ



イ 生江浜地区で初期消火活動体験研修会を開催しました。

平成30年11月11日(日)9時30分から生江浜会館で70人が参加して、金浦消防団第3部団員の指導で初期消火活動が誰れでも、何時でもできるよう実践体験をとおりスキル習得を図りました。

【研修メニュー】

- ・笠岡市危機管理課職員講師の防災講話「土砂災害の備え」と映像視聴
- ・移動式消火機材格納箱「火消し君」の消火栓への接続操作
- ・消防ポンプ車からの放水体験



## (2) 初期消火活動の強化

ホース格納箱と消火栓用消火機材の地区一斉点検を実施しました。

初期消火活動時、何時でも、迅速かつ確実に使用できるよう、平成30年8月から9月に掛けて、次のとおり点検を行い、ホース格納箱と消火機材の格納状況を確認しました。

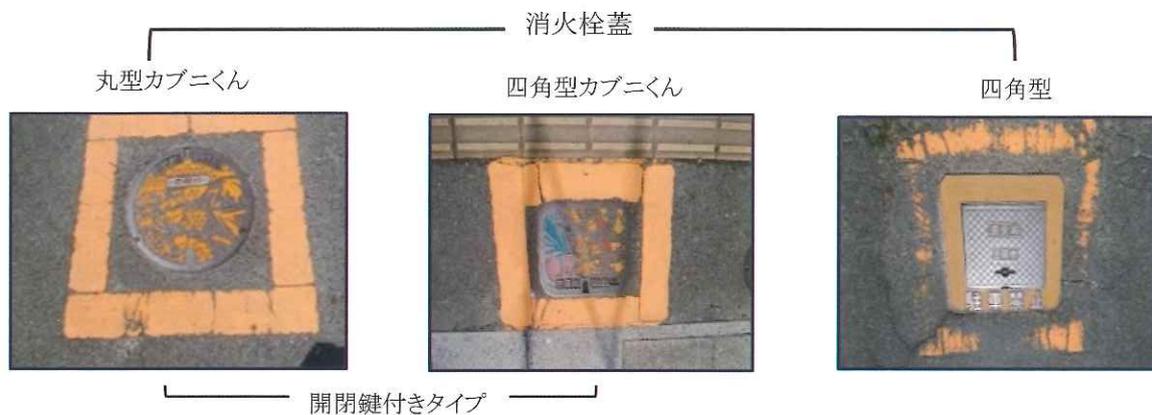
今後、毎年、地区一斉点検を行う予定です。

区分 \ 地区	鉄南	鉄北	吉浜北	吉浜南	大河	相生	旭が丘	生江浜	計
ホース格納箱	10	7	15	4	7	2	0	11	56個所
火消し君格納箱	0	0	0	0	0	0	0	4	4個所
消火栓	10	7	17	8	8	6	5	29	90個所



\* 格納品は消火ホース、MHキーハンドル、スタンドパイプ、管鎗・ノズル  
\* 格納品は、格納箱により異なります

\* 火消し君: 台車に消火ホース、MHキーハンドル、スタンドパイプ、管鎗・ノズル、媒介金具を搭載



## (3) 防災・減災用資機材の配備

平成30年7月豪雨時、生江浜地区の一部大溝氾濫の教訓から、地域住民による自主的な防災・減災活動の観点から資機材の配備要望があり、次のとおり3月に配備しました。

地区	配備品目
生江浜	倉庫1、一輪車2、スコップ4、LEDライト2
(団地)	ジャッキ1、水中ポンプ1、バール1

生江浜地区は、災害リスクが高い地域のため、防災資材倉庫は地区内4個所に分散設置となりました。



### 3 交通・防犯部会

#### (1) 小学校児童下校時の見守り活動を継続して実施

交通防犯部会では、継続して小学校下校時の見守り、防犯パトロールを実施していますが、更に充実を図るために毎日の下校時間を関係隊員に周知徹底を行う等、小学校との連携を強化して、充実した活動を継続できるように取り組みを進めています。

見守り隊員も随時見直しを行っており、現在総数は115名となっています。



【土手下道地区下校時見守り】



【相生地区下校時見守り】

#### (2) 通学路を主体とした道路整備について

グリーンベルトの設置他、通学路を主体とした道路整備も重点施策として取り組んでいます。今後も金浦地区全域に拡大していきたいと思っておりますので、皆さんでお気づきの事柄があれば、最寄のまちづくり委員または、代議員(6頁)までお知らせ下さい。

#### ※ 金浦小学校通学路安全対策 P T Aのアンケート調査と要望内容

地区名	要望事項			要望内容
	街灯	グリーンベルト	防犯カメラ	
鉄南・西沖	○			街灯が暗いのでLEDへ交換して欲しい
吉浜・银山			○	人道りが少なく、街灯も薄暗いので設置して欲しい
		○		広域農道 银山入り口～西お堂間200m 交通量も多く歩道も狭いので大変危険
吉浜・宮前		○		菅原神社北バス通り150m 交通量も多く歩道も狭く大変危険
生江浜・岬線			○	人目が少なく1人で下校する子がいる

- 1、防犯カメラについては、笠岡市へ設置要望を行うも設置費用等の関係で「現在のところ設置は困難である」との回答となっている。
- 2、街灯の増設，LED交換については、電気代や交換費用等の地区負担が発生するため、地区の行政協力委員等で調整を行った後、要望をしていただくこととしている。

### 4 環境部会

◎ 昨年まち協が調査して笠岡市に提出した「まち協金浦空き家データ」でうれしい変化が！

今回は、昨年笠岡市に提出しました「まち協金浦空き家データ」について笠岡市「定住促進センター」「都市計画課」よりデータ及びコメントを頂きましたので、次に紹介をさせていただきます。

※ 定住促進センター「空き家バンク」

平成30年度笠岡市空き家バンク事業で金浦地区が「契約件数」「移動人数」No1  
笠岡市ホームページで「空き家バンク物件情報」のチェックを宜しくお願いします

※ 笠岡市都市計画課「危険家屋」

老朽危険家屋への対応は、所有者(相続人)の確認をはじめ、法的な問題から簡単に進捗しない課題が山積していますが、「地域の皆さんと一緒に、今後とも粘り強く対応してまいります」

空き家バンク事業集計表 (平成31年3月31日現在) 県内外他箇所からの転入実績を示す

地区名 \ 年度	平成21年～平成29年		平成30年度		合 計	
	件 数	異動人員	件 数	異動人員	件 数	異動人員
笠 岡	15	28	10	22	25	50
金 浦	13	32	14	30	27	62
笠 岡 (番町)	3	14	1	1	4	15
大 島	11	24	8	14	19	38
城 見	0	0	2	6	2	6
陶 山	2	4	2	2	4	6
大 井	11	22	5	11	16	33
吉 田	7	22	2	4	9	26
新山他5地区	35	82	9	23	44	105
合 計	97	228	53	113	150	341

※すべての契約件数が、「まち協金浦空き家データ」ではありません

5 広報部会

7月、1月に広報誌を発行すると共に、芸能文化祭で各部会の活動計画や実績を紹介しました。また、「新見市まち協研修会」で当地区の活動状況のプレゼンテーションも行いました。

今年度も、引き続いて協議会のPR活動に努めますので、広報誌等のご意見を頂戴できれば幸いです。

6 各種打合せ会議等の開催状況

代議員総会	1回 (H30,5,27)	防災部会	4回
役員会(理事会)	1回	広報部会	3回
総務会	2回	交通・防犯部会	4回
企画部会	6回	環境部会	5回

7 平成30年度まちづくり自治協議会決算報告と令和元年度予算

(数値単位:円)

収支区分	平成30年度		令和元年度 予算額 C	増 減 比 較		備 考
	予算額 A	決算額 B		B - A	C - B	
<b>【収入の部】</b>						
収入計	1,772,000	1,771,992	1,757,000	△ 8	△ 14,992	
笠岡市交付金	1,768,000	1,768,000	1,753,000	0	△ 15,000	運営交付金
前年度繰越金	3,522	3,522	3,530	0	8	
その他収入	478	470	470	△ 8	0	
<b>【支出の部】</b>						
経費計	1,772,000	1,767,834	1,757,000	△ 4,166	△ 10,834	
人件費	800,000	780,000	800,000	△ 20,000	20,000	会長・事務局手当他
運営費	484,000	405,850	477,000	△ 78,150	71,150	
備品購入費	300,000	303,264	300,000	3,264	△ 3,264	H30、R1パネル購入
食糧費	30,000	18,900	30,000	△ 11,100	11,100	会議お茶代
事務費	154,000	83,686	147,000	△ 70,314	63,314	コピー用紙、トナー他
活動費	488,000	581,984	480,000	93,984	△ 101,984	防災訓練、研修会
活動費	488,000	478,264	480,000	△ 9,736	1,736	[ 広報誌、公民館事業共催 買物支援事業、防災雑品
備品購入費		103,720		103,720	△ 103,720	
<b>【差引残高】</b>	0	4,158	0	4,158	△ 4,158	
笠岡市返還金	0	166	0	166	△ 166	
次年度繰越金	0	3,992	0	3,992	△ 3,992	

令和元年度 金浦まちづくり自治協議会、役員・代議員の紹介

地区・団体	番号	代議員・役職			部会毎の担務内訳					備考
		旧氏名	新氏名	役員	企画部会	防災部会	広報部会	交通防犯	環境部会	
金浦鉄南	1	上田 寛治	上田 寛治			○				部会担務欄の ○印は、所属する部会を示す  ◎印は部会長 ●印は副部会長
	2	鹿嶋 茂雄	森本 雅彦		○					
	3	筒井 清人	筒井 清人	理事(副会長)			◎			
	4	谷 安信	谷 安信						○	
	5	八杉 朋幸	八杉 朋幸							
金浦鉄北	6	谷本 弘太郎	谷本 弘太郎	理 事	○					
	7	小林 邦生	小林 邦生			○				
	8	小川 孝志	小川 孝志					○		
	9	長安 正巳	長安 正巳						○	
	10	村上 迪紘	村上 迪紘				○			
吉 浜	11	岡本 重文	岡本 重文	理事(会長)	○					
	12	高橋 章治	高橋 章治				○			
	13	北川 正之	北川 正之	監 事		○				
	14	石井 高志	長尾 寛志					○		
	15	増成 忠雄	増成 忠雄			○				
	16	松浦 公平	松浦 公平						○	
生江浜	17	高田 泰紀	高田 泰紀	理 事	○					
	18	藤井 一男	藤井 一男			○				
	19	藤井 恒信	藤井 恒信					○		
	20	清水 達男	清水 達男				○			
	21	高田 英志	高田 英志						○	
旭が丘	22	山名 修	山名 修	理 事					●	
	23	高橋 邦彦	高橋 邦彦	監 事		◎				
	24	溝渕 律雄	溝渕 律雄				●			
	25	亀岡 智宏	亀岡 智宏		●					
	26	田淵 進	田淵 進					◎		
大 河	27	藤原 康市	藤原 一雅						○	
	28	塩飽 直紀	塩飽 直紀	理 事	◎					
	29	黒田 近匡	黒田 近匡			○				
	30	塩飽 英雄	塩飽 英雄					○		
相 生	31	塩飽 璋	塩飽 正巳				○			
	32	平井 輝久	平井 輝久	理事(副会長)					◎	
	33	丸山 悦二	丸山 悦二		○					
	34	八杉 昌一郎	八杉 昌一郎					○		
	35	高細 道昭	高細 道昭			○				
金浦公民館	36	長谷川 泉	長谷川 泉				○			
	37	清水 正毅	清水 正毅	理 事	○					
社会福祉協議会	38	筒井 美智子	筒井 美智子		○					
	39	藤井 義明	藤井 義明	理 事	○					
金浦小PTA	40	松浦 香代子	松浦 香代子		○					
	41	森本 紫織	三宅 真由美					○		
消防団金浦分団	42	浅野 茜	浅野 茜					○		
	43	北村 幸典	中村 浩之	理 事		●				
行政協力委員会	-	岡本 重文	岡本 重文						金浦地区行政協力委員長	
地区自主防災会	-	高橋 邦彦	高橋 邦彦						笠岡市自主防災連絡協議会長	
民生児童委員協議会	44	原田 美佐子	原田 美佐子			○			金浦地区主任児童委員	
愛育委員会	45	上田 和子	藤井 康子		○				金浦地区愛育委員長	
栄養委員会	46	藤井 真澄	三谷 みどり			○			金浦地区栄養委員長	
	47	佐藤 容子	樋之津 則子			○			金浦地区栄養委員副会長	
更生保護女性会	48	高田 芳子	高田 芳子				○		更生保護女性会長	
地域おこし協力隊	49	高橋 真笑	高橋 真笑				○		更生保護女性会会計担当	
	50	相澤 麻有子	-							
事務局		内尾 裕二	内尾 裕二							

顧問

所属・役職	氏名	備考
金浦保育園 園長	木村 和子	
金浦小学校 校長	前田 知之	
金浦中学校 校長	浅海 直哉	
笠岡学園 理事長	坂本 公明	
笠岡市議会議員	藤井 義明	
笠岡市議会議員	樋之津 倫子	
笠岡市議会議員	東川 三郎	
金浦駐在所	三浦 崇史	
吉浜駐在所	森山 雄介	

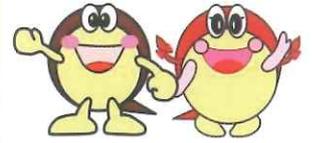
笠岡市地区担当職員

所 属	氏 名	備 考
地域福祉課	三島 哲利	
子育て支援課	安藤 貴子	
水道課	國司 知之	
市民課	寒川 奈緒子	

※ 令和元年度に代議員、顧問の一部が交代しました。  
交代された方々については、太字ゴシック体で表記しております。  
これからの一年間宜しくお願い致します。



御存じですか！ XII  
栄養委員・栄養委員制度とは



栄養委員・栄養委員制度とは

栄養委員は、健康推進法(平成14年法律第103号)に基づいて市民の健康づくりを推進するための栄養食生活改善の推進に関することのうち、次に掲げる事項を所掌することになっています。笠岡市では、平成20年2月に「笠岡市栄養委員設置規則」を制定しており、この規則第2条に次のように掲げられています。

- (1) 市民の食生活改善の取組の支援に関すること
- (2) 市民の栄養及び食生活改善の推進に関すること
- (3) 前2項に掲げるもののほか、この規則の目的を達成するために必要な事項

また第5条に、委員相互の連絡や円滑な運営を図るため、地区ごとに地区委員会を置くことが定められています。

さて、私たち金浦地区栄養委員21名は、活動目標を《私たちの健康は私たちの手で》と定め、栄養伝達、親子料理教室、男性料理教室、すこやか料理教室、栄養食堂等を行っています。また、子育てサロン”のびのび”では、集まってくれた子供達に季節のオヤツも作成して提供しています。



【栄養食堂の開催状況と作成提供した料理】



【すこやか料理教室の開催状況】



【親子料理教室の開催状況】

各教室の開催について、公民館だより等でご案内をしています。是非一緒に学びましょう皆様の参加をお待ちしています！！

## 金浦 地域おこし協力隊レポート おしまいの巻

### 活動ふりかえり

昨年は笠岡市内のお年寄りから聞き取り調査を実施し、当時の内職の様子と麦稗真田の組み方を教えていただき、麦稗真田の理解が深まっただけでなく、話をしてくれたお年寄りたちが楽しそうに昔話をしてくれたのが印象的でした。その教えていただいた「昔の知恵や文化」を若い世代に伝えるため、地域のお年寄りに講師をお願いし笠岡市内6か所、岡山市内2か所でワークショップを一緒に実施したところ、約150名の来場者を迎えることができました。特に子供へのワークショップの会場では、子供達が見たことも触ったこともない麦わらを使い彼らの祖父母世代の先生から話を聞き一緒に手を動かした様はお互いにとって良い刺激となり、参加した子供の中には自分で帽子を作りたいと話す子もいました。

笠岡市生涯学習フェスティバルにおいて1年間の活動報告と笠岡市歴史文化基本構想シンポジウムのパネラーとして活動発表。地元の文化や歴史研究に携わっている来場者が多数いた会場で活動報告したことで、自分の存在を知ってもらったことと、昔の情報や道具、畑の情報提供をしてくれた方があらわれました。

活動をまとめた冊子「麦稗真田のすゝめ」を2000冊作製し市内図書館や今後のワークショップ時に配布することで、様々な人へ冊子が手渡り今後の展開に大いに期待しています。



【ワークショップの開催状況】

※笠岡市地域おこし協力隊「相澤麻有子」氏は、この度3年間の任期を終えられました。この間地域の子供達の指導をはじめとしてまち協の活動も積極的に取り組んでこられ、多くの成果を残されました。今後、彼女の益々のご多幸とご活躍を祈念し、レポートを閉じさせていただきます。

## 新見市へまち協の活動状況について 説明に行ってきました

今年3月15日(金)新見市の土橋交流センターで行われた「住民自治のまちづくり」研修会に、金浦まちづくり自治協議会及び今井まちづくり協議会が招待され、日頃の活動状況を報告してきました。岡本会長他3名が参加し、先ず会長が、金浦地区の特徴やまちづくり協議会が発足に至った経緯等を説明しました。



【新見市土橋交流センターの研修会風景】



その後、各部会の活動状況について広報部会が作成したスライドをもとに他の3名が説明しました。新見地区でも、今後、同様の組織を立ち上げる予定で、若者を含む多くの参加者は熱心に聴き入っていました。